

## 目 次

序 章	調査研究の概要	1
第1節	研究目的	1
第2節	調査研究の仮説と調査内容	2
	(1) 調査研究仮説	
	(2) 調査内容	
第3節	調査対象と調査方法	3
	(1) 調査対象と調査対象者の選定	
	(2) 調査方法	
第4節	実施時期・調査主体等	4
	(1) 調査実施時期	
	(2) 調査主体	
	(3) 本報告書の分析視角	
第1章	青少年の逸脱行動の実態とその類型化	7
第1節	青少年の逸脱行動の実態とその理由	7
	(1) 青少年の逸脱行動の実態	
	(2) 逸脱行動をする理由	
第2節	青少年の逸脱行動の類型化	12
第2章	青少年の規範意識の現状	17
第1節	規範（遵守）意識の実態	17
第2節	規範意識と逸脱行動との関係	19
第3節	まとめ	20
第3章	青少年の規範意識に影響を与える要因	21
第1節	各要因との関連	21
	(1) 規範意識に対する親・大学進学率・学校立地地域の影響 および規範意識と逸脱行動との関係	
	(2) セルフィメージ・対社会的自己認識と規範意識との関係	
	(3) 社会観・生活価値観と規範意識との関係	
第2節	青少年の規範意識の形成と要因	35
第4章	逸脱行動と家庭環境・家族関係	37
第1節	青少年の家庭環境	37
	(1) 青少年の家庭生活満足度	
	(2) 青少年の家庭環境	
	(3) 父親・母親との関係	

第2節	青少年の逸脱行動と家族	42
	(1) 逸脱行動と家庭生活満足度	
	(2) 逸脱行動と父親・母親関係	
	(3) まとめ	
第3節	家庭生活から見た非行原因の認識	46
第5章	逸脱行動と学校生活	49
第1節	逸脱行動と授業理解度、学業成績、進学アスピレーション	49
	(1) 逸脱行動と授業理解度	
	(2) 逸脱行動と学業成績	
	(3) 逸脱行動と進学アスピレーション	
第2節	逸脱行動と学校生活の満足度と不満	56
	(1) 逸脱行動と学校生活の満足度	
	(2) 逸脱行動と学校生活の不満	
第3節	大学進学率および学校立地との関係	61
第4節	まとめ	72
第6章	逸脱行動と友人関係および余暇行動	75
第1節	逸脱行動と親しい友人	75
	(1) 男女別に見た親しい友人の数	
	(2) 大学進学率別に見た親しい友人の数	
	(3) 学校立地別に見た親しい友人の数	
	(4) 親しい友人の数と逸脱行動度の関係	
第2節	逸脱行動と学校外で一緒に過ごす友人	78
	(1) 性別に見た「学校外で一緒に過ごす友人」	
	(2) 大学進学率別に見た「学校外で一緒に過ごす友人」	
	(3) 学校立地別に見た「学校外で一緒に過ごす友人」	
	(4) 「学校外で一緒に過ごす友人」と逸脱行動の関係	
第3節	逸脱行動と友だちづきあいの満足度と不満	81
	(1) 男女別に見た友だちづきあいの満足度と不満	
	(2) 大学進学率別に見た友だちづきあいの満足度と不満	
	(3) 学校立地別に見た友だちづきあいの満足度と不満	
	(4) 逸脱行動度から見た友だちづきあいの満足度と不満	
第4節	逸脱行動と余暇行動	86
	(1) 男女別に見た余暇行動	
	(2) 大学進学率別に見た余暇行動	
	(3) 学校立地別に見た余暇行動	
	(4) 逸脱行動度別に見た余暇行動	

第5節	まとめ	91
第7章	逸脱行動とセルフイメージ・対社会的自己認識および社会観	
	・生活価値観	93
第1節	セルフイメージ・対社会的自己認識と逸脱行動の関係	93
第2節	社会観・生活価値観と逸脱行動の関係	94
第3節	まとめ	97
第8章	逸脱行動の抑制要因	99
第1節	逸脱行動を抑制するもの	99
第2節	非行原因についての高校生の見方	101
第3節	まとめ	102
終章	調査結果のまとめと提言	105
第1節	調査結果のまとめ	105
第2節	調査結果に基づく提言	108
付表		111
1	単純集計結果および中学・高校別、男女別集計結果	111
2	調査票	148